

貸借対照表

(2018年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	2,340	流 動 負 債	923
現 金 及 び 預 金	116	買 掛 金	293
売 掛 金	517	未 払 金	468
半 製 品	338	未 払 法 人 税 等	161
原 材 料	151	預 り 金	0
仕 掛 品	505		
貯 蔵 品	82	負 債 合 計	923
前 渡 金	16		
前 払 費 用	10	純 資 産 の 部	
未 収 入 金	0	株 主 資 本	2,018
預 け 金	562	資 本 金	100
繰 延 税 金 資 産	40	資 本 剰 余 金	1,844
固 定 資 産	601	資 本 準 備 金	1,844
有 形 固 定 資 産	590		
建 物	1	利 益 剰 余 金	73
機 械 及 び 装 置	511	そ の 他 利 益 剰 余 金	73
工 具 ・ 器 具 及 び 備 品	68	繰 越 利 益 剰 余 金	73
建 設 仮 勘 定	10		
無 形 固 定 資 産	1		
ソ フ ト ウ ェ ア	1	純 資 産 合 計	2,018
投 資 そ の 他 の 資 産	9	負 債 及 び 純 資 産 合 計	2,942
長 期 前 払 費 用	1		
繰 延 税 金 資 産	7		
資 産 合 計	2,942		

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損 益 計 算 書

(2017年4月3日から2018年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額	
売上高		4,448
売上原価		4,008
売上総利益		440
販売費及び一般管理費		252
営業利益		187
営業外収益		1
営業外費用		0
経常利益		188
税引前当期純利益		188
法人税、住民税及び事業税	161	
法人税等調整額	▲ 47	114
当期純利益		73

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

① 製品・半製品・仕掛品

一般製品……………総平均法による原価法

個別受注品……………個別法による原価法

② 原材料……………総平均法による原価法

③ 貯蔵品……………個別法又は最終仕入原価法

なお、収益性が低下した棚卸資産については、帳簿価額を切り下げております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定額法を採用しております。

(2) 無形固定資産

無形固定資産（ソフトウェアを除く）については、定額法を採用しております。

なお、ソフトウェアの減価償却の方法は次のとおりであります。

ソフトウェアについては、見込利用可能期間（5年以内）に基づく定額法によっております。

3. 引当金の計上基準

貸倒引当金

売上債権等の債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

.....
(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。